

地方財政の充実・強化を求める請願書を全会一致で採択 財源確保を求める意見書を提出

9月定例会市議会に提出された、「地方財政の充実・強化を求める請願」は総務文教常任委員会に付託し、全会一致で採択され、9月27日の最終日に委員長報告がおこなわれ、本会議でも全会一致で可決され、つづいて委員長から意見書案が提案され、全会一致で可決されました。

意見書では、社会保障、災害対策、地域交通対策など増大する地方自治体の地方の一般財源総額の確保や社会保障予算の確保、地方交付税のあり方を検討すること、社会保障の充実、地方財政の安定させることなどを求め、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣などに意見書を提出しました。



教室、体育館にクーラーの設置を一般質問で求める

大東議員は、一般質問で教室や体育館へクーラーを設置し、暑さ対策を急ぎ子どもたちの安全を守るよう求めました。

教育長は、「今年おこなった普通教室の温度調査で、すべての学校で国が示す基準を超え、クーラーの設置が有効手段であると考えている。費用



やランニングコストを含めた整備について検討をすめたい」と答えました。

夏の西日本豪雨災害で体育館が避難所となったことを示し、大東議員は沼田市でも体育館が避難所に指定されていることから体育館へのクーラー設置を求め、教育長は「必要に思う」と答えました。



町民の力作が勢ぞろい 上原町ふれあい作品展

上原町ふれあい作品展が13日と14日、上原町区民館で開かれ、絵画、書、木工、手芸、写真、盆栽、切り絵、トールペイントなど町民の力作が展示されました。

上原町ふれあい作品展には、ぬまた東保育園園児の作品28点、沼田特別支援学校生徒の作品40点も展示され、出品者は156人で、214点の作品が展示されました。



地域経済振興について群馬商工団体連合会が市に要請

群馬県商工団体連合会と沼田民主商工会は17日、地域経済の振興や「小規模企業振興基本条例」の制定などについて、市に要請し懇談しました。

地域経済を振興させる理念を位置づける「小規模企業振興基本条例」の制定について、市は引き続き検討したいと答えました。

消費税の増税について、市は国の動向を見守ると答えるにとどまりました。



2018年10月21日

NO. 583

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料

こんにちは 大東のぶゆき です

こんにちは。自民党総裁選3選後の安倍首相は、14日の自衛隊最大行事の一つである観閲式で、「政治家の責任」とまで言って憲法9条に自衛隊を明記する改憲の執念を示したのにつづき、15日には臨時閣議を開いて来年10月からの消費税増税を改めて表明するなど、暴走がいつそう激しさを増しています。

自衛隊の観閲式で9条改憲を表明した安倍首相の訓示は、閣僚の憲法尊重擁護義務も実力部隊組織である自衛隊の政治的中立原則を踏み越える言語道断の発言です。

憲法に自衛隊を明記すれば、戦力不保持、交戦権否認の9条2項が空文化・死文化し、自衛隊の無制限の武力行使に道を開くことになり、首相の企てを許すことはできません。



消費税の増税は、国民の消費や景気に与える影響が大きいくことから、安倍首相でさえ2回にわたって延期しましたが、消費税を増税することは、絶対に中止するべきです。

続ぶらり散歩 めまた道 白沢町あれこれ 特別編その三十五

大利根酒造 左大臣

高平の大利根酒造は、明治33年(1900)に長野県からきた阿部平太郎氏によって「白泉の誉」という名称で酒造業がはじめられました。



このころ高平には池田家(「前蔵」とよばれていた)も酒造りをおこなっていましたが、昭和11年(1936)に廃業しました。(左大臣は「後蔵」とよばれていた)

利根郡酒造組合が開いた「利酒会」「品評会」で、「白泉の誉」が一等に入選したことが明治時代の上毛新聞で紹介されるなど、甘みを含む口あたりの良さは古くから好評を得て、今も地方の小さな酒蔵として多くの人に親しまれています。

おのちゅうこう 文学碑



望郷の詩人とよばれたおのちゅうこうは、明治41年(1908)高平に生まれました。

昭和17年(1942)には、童話「氏神さま」が、文部省推薦図書となりました。

椎坂峠の頂上近くに「おのちゅうこう文学碑」があり、故郷を思う詩が彫られています。